

院外処方箋に記載されている検査値項目一覧表

項目	下限値		上限値		単位	項目の説明
	男性	女性	男性	女性		
WBC (白血球)	3.30		8.60		$10^3/\mu\text{L}$	白血球の総数で、血液疾患や炎症性疾患、薬品の影響により異常値を示します。
Neut (好中球数)	1310.0		6060.0		$/\mu\text{L}$	細菌・ウイルス感染症、アレルギー反応、各種血液疾患の識別や抗がん薬などの薬品使用時に用いられます。
Hb (ヘモグロビン)	13.7	11.6	16.8	14.8	g/dL	酸素の運搬を担う赤血球中の色素タンパク質であるヘモグロビンの量です。多血症や貧血の診断などに用いられます。
PLT (血小板)	15.8		34.8		$10^4/\mu\text{L}$	出血を止める働きを担う血球の数です。薬品の影響により低値を示す場合があります。
PT-INR	—		—		—	血液の凝固能の指標になります。
AST (GOT)	13		30		U/L	肝臓や心筋などの組織が障害されると血中に増加する酵素です。肝機能や心機能の指標となります。薬物性肝障害などでも高値を示します。
ALT (GPT)	10	7	42	23	U/L	肝細胞が破壊されると血中に増加する酵素で、肝機能の指標となります。薬物性肝障害などでも高値を示します。
T-BIL (総ビリルビン)	0.4		1.5		mg/dL	胆汁色素の主成分で、肝疾患の診断や黄疸の識別に用いられます。
sCr (クレアチニン)	0.65	0.46	1.07	0.79	mg/dL	腎機能の指標です。高値であるほど腎機能が低下していることを示します。腎排泄型の薬品では、腎機能に応じて減量や投与間隔の延長が必要となる場合があります。
eGFR	—		—		$\text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2$	血清クレアチニン値と年齢と性別から算出される腎機能の指標です。低値であるほど腎機能が低下していることを示します。日本人健康成人の平均体表面積(1.73 m^2)あたりの値で表示されます。
CK (クレアチンキナーゼ)	59	41	248	153	U/L	筋肉に存在する酵素で、心筋梗塞や筋肉の障害で上昇します。
Na (ナトリウム)	138		145		mmol/L	細胞外に多く含まれる陽イオンで、水の体内分布、浸透圧の調整などの働きをします。薬品の影響により異常値を示す場合があります。
K (カリウム)	3.6		4.8		mmol/L	細胞内に多く含まれる陽イオンで、神経や筋肉の機能を正常に保つ働きをします。薬品の影響により異常値を示す場合があります。
Ca (カルシウム)	8.8		10.1		mg/dL	骨の主成分で、血液の凝固、筋肉の収縮、神経の刺激伝導などの働きもあります。薬品の影響により異常値を示す場合があります。
血糖	73		110		mg/dL	血糖コントロールの指標になります。
HbA1c (NGSP)	4.9		6.0		%	血糖コントロールの指標で、国際標準値(NGSP値)で表記しています。